

2026 年度 豊橋技術科学大学同窓会 総会 議事録

日時： 2026 年 7 月 25 日（土）15:00～17:15 現地＋オンライン（Zoom）

現地会場： 豊鉄ターミナルビル 4F TB4F-H 会議室（愛知県豊橋市駅前大通 1-46-1）

アクセス：https://www.nipponkaigishitsu.com/detail/?id=538&tab_index=6

Zoom：<https://us06web.zoom.us/j/82427618180?pwd=AoSyAQGNlwae3J8I22N72iXVf8uUsL.1>

議長： 山本 義久 豊橋技術科学大学同窓会会長

議事録：小松 和暉（2 系役員）

役員出席者 15 名（順不同，敬称略） ※太字は現地参加者 9 名

山本会長，高嶋顧問，安部副会長，日名地副会長，稲田副会長，戸高（1 系），小松（2 系）田村（3 系），中尾（学外），河野（2 系），山根（2 系），栗田（4 系），松尾（5 系），瀧内（5 系），Tan（海外支部），TS Yew（マレーシア海外同窓会 副支部長）

役員外出席者 9 名（順不同，敬称略） ※太字は現地参加者 4 名

（オンライン参加者は Zoom 表示氏名が参加予定者名簿と照合できた方のみ記載）

有原浩二，中川真，河邊真人，若林亮，波田英輝，滝川浩史，葉山清輝，渋谷博幸（監査），浦富明日香

【配布資料】

資料番号 R08-TS-01 豊橋技術科学大学同窓会 2026 年度役員一覧

資料番号 R08-TS-02 委任状提出結果

資料番号 R08-TS-03 豊橋技術科学大学同窓会 2025 年度事業報告

資料番号 R08-TS-04 豊橋技術科学大学同窓会 2025 年度決算報告

資料番号 R08-TS-05 豊橋技術科学大学同窓会 2026 年度事業計画

資料番号 R08-TS-06 豊橋技術科学大学同窓会 2026 年度予算案

【報告事項】

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 2026年度役員名簿の確認および委任状提出結果（2系） | 資料番号 R08-TS-01 |
| | 資料番号 R08-TS-02 |
| 2. 2025 年度事業報告（2系） | 資料番号 R08-TS-03 |
| 3. 2025 年度決算報告（5系） | 資料番号 R08-TS-04 |

【協議事項】

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 2026 年度活動計画（2系） | 資料番号 R08-TS-05 |
| 2. 2026 年度予算案（5系） | 資料番号 R08-TS-06 |

【その他】

1. 名簿システムの更新に関して

【議事】

報告事項

1. 2026年度役員の確認および役割分担について（2系） 資料番号 R08-TS-01, R08-TS-02

○稲田先生より、配布資料に基づき総会出欠・委任状集計について説明があり、総会成立条件が満たされていることが確認された。また、出欠回答時の同窓生からのコメントについて紹介があり、特に大学 50 周年記念式典のオンライン配信の提案については大学側で対応が進んでいることが報告された。

2. 2025年度事業報告（2系）

資料番号 R08-TS-03

○稲田先生より、配布資料に基づき 2025 年度の事業報告があった。2025 年度の同窓会の事業として、定例役員会の開催、Web 名簿システムの運用および HP/ML の更新、大学執行部メンバー等との意見交換会の開催、定例総会の開催、同窓会報の発行、季報「技科大の顔」の発行、卒業記念パーティーの開催及び同窓会会長賞の授与、学生課外活動支援事業、「めざましごはんプレミアムモーニング」「同窓会カレー」経費支援、懇親会・パーティ等交流活動開催助成、第 4 回ホームカミングデーの共催について報告された。

○本報告について質問等はなかった。

3. 2025年度決算報告（5系）

資料番号 R08-TS-04

○松尾先生より配布資料に基づいて、2025 年度の決算報告があった。概要を以下にまとめる（各項目の詳細は配布資料を参照）

- ・収入（入会金・会費等） A= 6,357,431 円
- ・昨年度からの繰越金 B= 49,007,466 円
- ・支出（詳細は資料参照） C= 6,594,418 円
- ・2026 年度への繰越金 A+B-C= 48,770,479 円（単年度 236,987 円赤字）
- ・目的積立金（10 周年記念催事用） 3,000,000 円

○監査の洪澤先生により 7 月 14 日に監査報告が実施され、適正に管理されていることが確認された。

○御出席者より「1 件を除き他のすべての預金口座の残高確認日が 4 月 1 日であるのに対して、ある預金口座だけ 4 月 25 日になっているのはどうしてか？」と質問があった。

→松尾先生より「2025 年度の役員労務費について 3 月末締めで 4 月中に本口座より役員へ支払いを実施したため、他の口座よりも残高確認日が遅くなっている」ことが回答された。

協議事項

4. 2026年度活動計画（2系）

資料番号 R08-TS-05

○稲田先生より配布資料に基づいて 2026 年度の活動計画の説明があった。なお、例年と異なる活動計画として、新名簿システムの導入に向けた検討を進めることや、技科大祭実行委員会に関する特別経費支援、ロボコン同好会に対する特別経費支援、大学の開学 50 周年記念事業への寄付及び開学 50 周年記念に合わせた同窓会開催の企画についても計画案の説明があった。

○本件について質問等はなく、予算に関連する事項以外については承認された。予算が必要な項目についても続く 2026 年度予算案に関する協議で審議されることとなった。

5. 2026年度予算案（5系）

資料番号 R08-TS-06

○松本先生より配布資料に基づいて 2026 年度の予算案について説明があった。例年と異なる点として、ロボコン同好会への支援金（70 万円）、技科大祭実行委員会への支援金（30 万円）、開学 50 周年記念事業への寄付（500 万円）、開学 50 周年同窓会イベント開催支援（400 万円）が計上されている点が報告された。なお、安部先生より、配布された予算案では名簿システムの更新について反映されていないことが報告された。

○役員や参加者より、本年 10 月末に 50 周年記念事業があるため、それまでに名簿システムを更新するのが望ましいのではないかという意見もあり、同窓会の本年度予算案に名簿システム更新に関する費用を組み込むべきであることが議論された。本件について、移行先の名簿システムを先に決定する必要があるため、一旦予算案の審議を中断し、移行先の名簿システムについての議論を行った。議論の詳細は本議事録の「その他 6. 名簿システムの更新に関して」に詳細を示す。議論の結果、移行先の名簿システムは「チャイマー」に決定し、2026 年度の予算案に「新システム導入・運用費」として 187 万円が追加で計上されることで承認された。なお、名簿システム経費については大学との折半で支出しているが、本費用については今後大学と協議を行うこととなった。

○御出席者より「季報経費のデザイン会社経費が、昨年度は 1 回あたり 6 万円だったものが 5 万円に下がった理由は何か？」と質問があった。

→松尾先生より「昨年度実績で見ると 1 回あたり 5 万円弱であったため、実績に合わせて 5 万円とした」ことが回答された。

○戸高先生より「50 周年の同窓会イベント開催支援金の申請や使用方法はどうなるのか？」という質問があった。

→他の役員より「各系の役員が申請をすれば使用できる」ことが回答された。

○以上の審議の結果、名簿システムの「新システム導入・運用費」を原案に追加する形で予算案は承認された。

その他

6. 名簿システムの更新に関して

○安部先生より、名簿システムの移行先の候補である「パルサイン」（現状システムの後継）と「チャイマー」の比較について説明があった。パルサインとチャイマーの大きな違いとして、コミュニティ機能・イベント機能の有無や、導入費や年間利用料、予備アドレスへの送信機能の有無等のシステムの差異について説明があった。特に、導入費はパルサインが 135 万円でチャイマーが 55 万円であり、年間利用料はパルサインが 79.2 万円でチャイマーが 120 万円である点、またイベント支援・アドレス収集機能・コミュニティ機能がある点についてはチャイマーが優れていることが説明された。

○高嶋顧問より「現状のシステムは名簿システムとしても使いづらく、その後継であるパルサインに移行するのは費用対効果が悪いため、チャイマーの方がいいのではないか」という意見があった。

○若林前会長より、「現状のシステムだと、同窓生のメールアドレスを知りたい場合に非常にハードルが高い問題があったが、チャイマーだとその点はどうか？」と質問があった。

→安部先生や戸高先生より、チャイマーのコミュニティ機能が活発に活用されれば、より連絡が取りや

すい形態になると期待できると回答された。一方で、コミュニティ機能を活かすためには役員側でのシステム上の作業が必要であり、それについて現状の役員体制で運用できるのかという問題も共有された。○以上の議論や意見を元に、両システムで費用対効果や利便性を出席者で協議した結果、新システムとしてチャイマーを10月末に向けて導入を進めることが決定された。